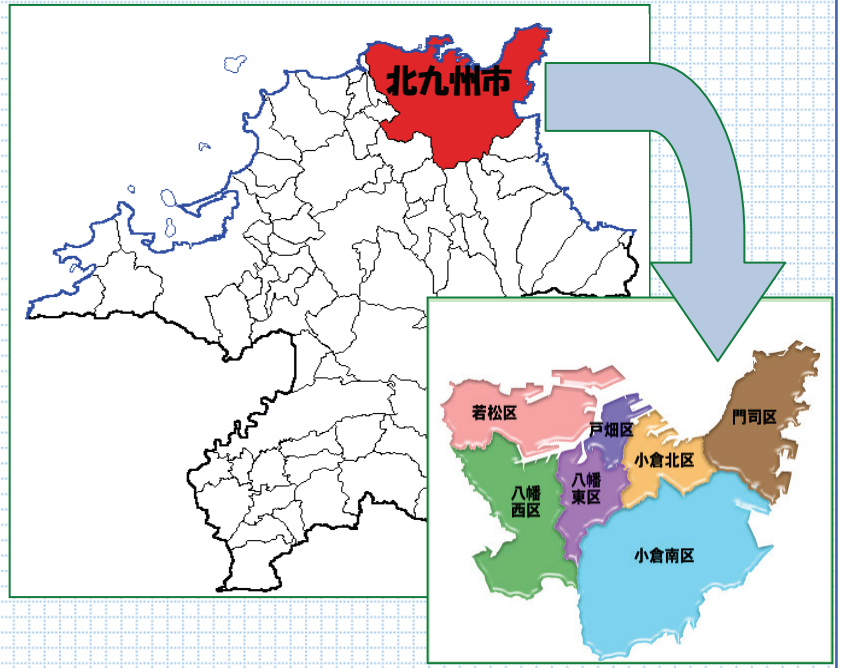


学習課題

- ・北九州市はどのように変わってきたのだろうか？
- ・北九州市はどのような特色を持っているのだろうか？



けんた君

先月、家族で福岡県の北九州市に旅行に行ったよ。
緑がいっぱいで、とてもきれいなまちだったよ。

北九州市は今はきれいなまちだけど、約50年前までは、空は工場からの「七色の煙」で覆われ、海は大腸菌さえ住めない「死の海」と呼ばれるほど、公害に悩まされていたんだよ。



こぼら先生

北九州市には八幡製鉄所があって、工業が発達したまちだったって聞いたことがあるわ。工業の発展で、公害が起こったのね。



えみこさん

公害に最初に気がついたのは、家族の異変を感じたお母さんたちだったんだよ。そして、お母さんたちを中心とした市民が、公害をなくそうと立ち上がったんだ。
また、北九州市の人たちは工場で働く人も多く、工場を運営している企業も一緒になって公害の克服に取り組んだんだよ。
こうして現在では、環境に配慮した「環境都市」としてまちづくりを進めているんだ。

人々や市、企業が一緒になって取り組んで、公害を克服したのね。
でも、北九州市はどんなふうに『環境都市』を作ろうとしているのかしら？

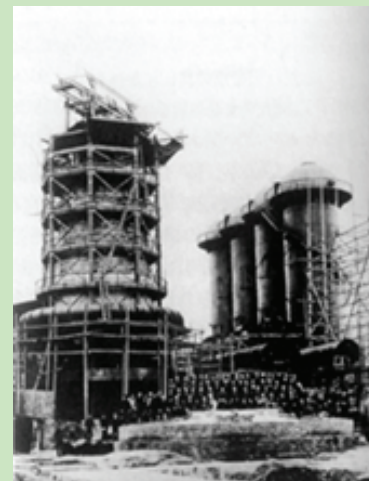
こうして、けんた君とえみこさんは北九州市のまちづくりについて調べることにしました。



▲1960年代の写真(上左・下左)と、
同じ場所の現在の写真(上右・下右)

八幡製鉄所を支えた大冶鉄山(中国)と、筑豊炭田の位置を確認してみよう！

■北九州市を支えた八幡製鉄所
八幡製鉄所は、1897(明治30)年に官営の製鉄所として、現在の八幡東区に設立され、1901(明治34)年から操業を開始しました。鉄鉱石を中国から、石炭は地元の筑豊炭田で調達できたので、その後発展し、日本の鉄鋼業の発展に貢献しました。



I 地域・言葉の意味を調べる

1. 北九州市について調べて、() に書き込んでみましょう。

面積は() km²で、人口は() 人です。
全部で() つの区から成り立っています。

北九州市には多くの区があるけれど、それぞれの区には特徴がありそうだよ。
いったい、どんな特徴があるのだろう。



- () 区：本州と向き合う九州の北端の区。洋風の建築物などが多数ある。
- () 区：市役所などがあり、北九州市の都心と位置付けられる区。
- () 区：面積が最も広く、自然が豊富な区。
- () 区：工業出荷額が最も高い区。
- () 区：八幡製鉄所があり、近代製鉄発祥地である区。
- () 区：人口が最も多い区。
- () 区：「北九州市エコタウン事業」などが進められている区。

2. 次の語句について調べてみましょう。

公害 ・ 八幡製鉄所

II 地域の特徴を説明する

3. 北九州市が『環境都市』としてまちづくりを進めているのはなぜですか。説明してみましょう。

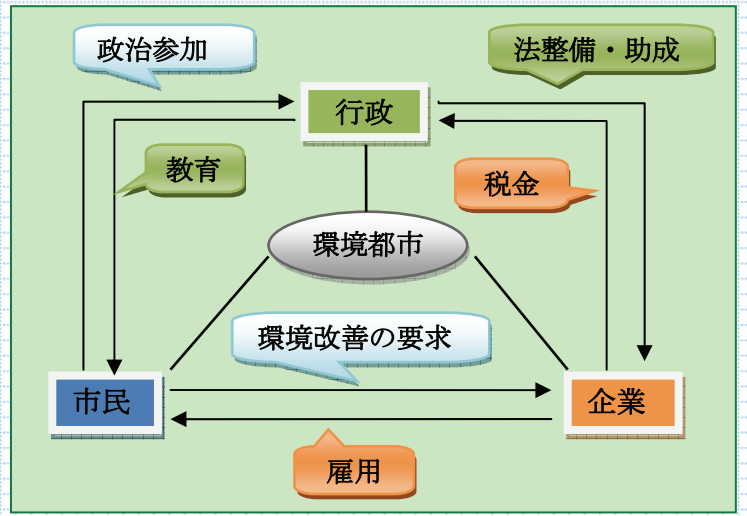
4. 公害を克服することができたのはなぜですか。「市民」「企業」という言葉を用いて説明してみましょう。

III 関心を高める

5. 自分のまちの環境問題について調べてみましょう。

学習課題

・どうして北九州市は「環境都市」として変わることができたのだろうか？



A 市民の
まちづくり運動

B 企業の持つ
技術力

C 行政としての
支援

D 市民と企業と
行政の一体化

＜北九州市の国際的な展開＞

北九州市は行政と企業と市民が一体となって、アジア諸国を中心とした国際的な環境ビジネスを展開していこうとしています。

例えば、高度な環境技術や環境に対する意識を国際的に広めていくことにより、国際貢献をしています。

北九州市の公害を克服してきたのは、工場労働者の人々をはじめとする北九州市の市民の力でした。そのため北九州市のまちづくりにおいても、市民は快適で健康な生活をおくるために環境に対する要望は強くありました。

北九州市の企業は、公害克服という歴史的背景により環境への意識が比較的高く、企業には高度な環境技術やノウハウが蓄積されていました。そのため企業は工場から出る有害な物質を制限するなどの環境に配慮した設備を設置し、リサイクル業に代表される環境産業に進出していきました。しかし、こういった設備投資やリサイクルの過程で高いコストがかかり、企業にとっては厳しい分野でした。

行政は「持続可能な社会」の実現に向けて、資源を有効利用する「循環型社会」の構築を目指しています。また行政は、まちの活性化のために新規産業を誘致するなどの支援をしています。

企業の環境設備投資や環境産業への進出のために、行政は「循環型社会」の実現を目指すための助成金や法整備などの支援を行い、企業の環境分野における新規産業の創出や生産の増大を促進しています。また、企業も行政の支援に依存をするばかりではなく、資源の有効活用によるコストの削減などにより利益の増大を目指しています。また、市民にとっては新規の雇用が創出され、行政にとっては税収が増大し、まちの活性化につながります。

ここで重要なことは、わたしたちがゴミの分別をするなど環境に対して主体的に働きかけ、まちづくりに積極的に参加していく「市民環境力」を高めていくことです。そのために、行政は環境教育を推進して市民への啓発事業を進めています。つまり、「環境都市」を推進していくには行政と企業と市民の一体となって進めていくことが重要です。

図1のように、北九州市の市役所や家電量販店には携帯電話回収BOXが設置されているのよ。でも、どうして携帯電話をわざわざ回収しているのかしら？

図2では、車が“鉄のかたまり”になっているね。どうしていらなくなった車から鉄のかたまりを取り出す必要があるのかしら？



図1 携帯電話回収BOX



図2 再資源化された「車」

～ <コラム> エコタウン ～

エコタウンでは関連企業の集積によるエネルギーや資源の有効活用によってコストを削減し、また「エコタウン」ブランドの製品価値によって、他製品との差別化を図り企業は利益をあげています。行政としては参入に際しての助成金や土地整備などにより企業の“土台づくり”の支援をしています。



エコタウン事業部百田さん

I 言葉の意味を調べる

1. 次の用語の意味を確かめなさい。

- ①「持続可能な社会」 ②「循環型社会」と「低炭素社会」
- ③「動脈産業」と「静脈産業」

II 特徴・関係性を捉える

2. 北九州の環境都市において「企業」と「行政」はそれぞれどのような特徴・役割をもち、またどのように連携しているのだろうか？

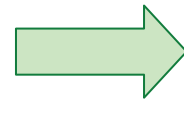
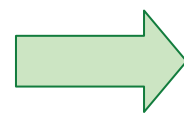
以下の（ ）に語句を入れて完成させなさい。

北九州市では企業と行政のそれぞれの特徴や役割は何か？
また、企業と行政は環境産業においてどのような連携をしていたかな？



企業：公害克服の歴史から高度（ ）をもつ
しかし、環境産業への進出は設備投資などの面で（ ）

行政：「循環型社会」の実現のため（ ）を実施して企業の環境産業への進出を支援



企業：新規事業を開拓して生産を拡大し、また、（ ）などのコスト削減により利益を増大させる
行政：企業の利益の増大や雇用の拡大により、まちの（ ）が増大し、財源が潤沢になる

III 意見を主張する

3. 私たちのまちでは企業と行政がどのように連携しているか、調べてみよう！

4. あなたが望ましいと考える「環境都市」とはどのようなものか考えてみよう。また、私たちのまちではどのような“まちづくり”をしていけばいいと考えますか。理由も述べなさい。

学習課題

- ・北九州市は今後どのように発展しようとしているのだろうか？
- ・企業、市民、行政はさまざまな困難にもかかわらず環境問題に取り組んでいるのだろうか？

みんな何を学んでいるんだろう？



A 北九州市民の声

北九州市は市民と企業、行政の協力によって公害を克服し、『環境都市』としてまちづくりをすすめています。『環境都市』を目指す取り組みに市民はどのように感じているのでしょうか？



「北九州市は企業にCO₂の削減や資源のリサイクルに努力するよう求めているらしいわ。」



「企業はとても大変そうだね。企業には他の県や国のほうが、都合がいいんじゃないかな？」



「企業だけでなく市民の間にもいろんな意見があるみたいよ。インタビューしてみたわ。」

市民A「地域の清掃やごみの分別などが徹底されるようになって、市民の意識も変わってきていると思うよ。」

市民B「環境問題に多くのお金を使うより経済や福祉に使って欲しいわ。」



「『環境都市』に対して市民には疑問もあるようだね。」



「では、なぜ北九州市は市民と行政、企業が協力して環境問題に取り組んでいるんだろう？」

B 北九州市の課題と取り組み

北九州市の『環境都市』への取り組みは『グリーンフロンティアプラン』という行動計画に示されています。ここでは、循環型社会の実現により、環境問題の解決とともに企業の活力増大やアジア地域との交流が目指されています。市では「アジア低炭素化センター」の設立や先進的な環境分野での雇用創出などの取り組みを進めています。しかし、環境問題の解決には世界規模での取り組みが不可欠であることや、多額の費用がかかることなど、未だ多くの課題があります。

北九州市役所の梶原さんのお話

環境問題は世界規模で考えないといけない課題です。解決への取り組みは市にとって様々な利益になります。これらの取り組みは市民や企業との信頼関係が必要です。

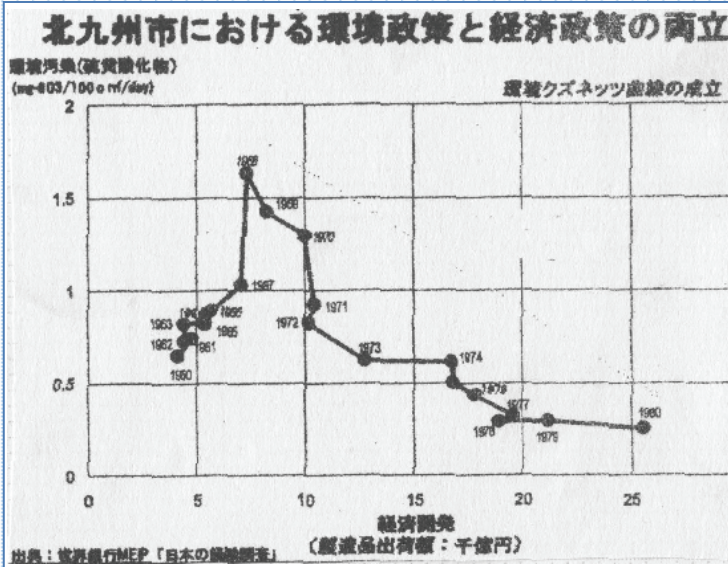


市民の声

本当に環境への取り組みで市が良くなるの？
高速道路や公園をもっと整備してほしいよ。

企業の声

環境対策のためにお金がかかりすぎて利益が少なくなってしまうそうだよ。



北九州市は公害を克服し、『環境都市』として発展しようとしています。

学習を整理して、自分のまちや生活につなげるために以下の課題をやってみましょう。

I

言葉の意味を調べる

1. 次の語句について調べてみましょう。

グリーンフロンティアプラン

アジア低炭素化センター

II

原因・影響を推論する

2. 上のグラフを見て、環境汚染が改善されると経済はどうなっているか考えてみましょう。

3. 市役所の梶原さんの言う「様々な利益」とは、どのような利益があるのでしょうか。

III

意見を主張する

4. あなたは行政と市民、企業のどの意見に納得しますか。また、それはなぜですか。